

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

第10回

学校運営協議会はどんな未来をのこせるか — 京都市高倉小学校の事例から —

おお た こう

講師：太田 興 先生

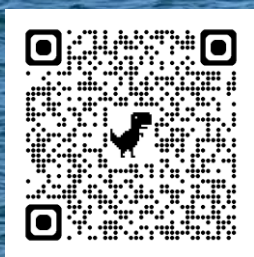
京都市立高倉小学校学校運営協議会・防災部会
防災寺子屋・京都 代表

令和8年 10月9日（金）

15:00～16:45

場所：鳥羽商工会議所 3 階
かもめホール（オンライン参加も可）

<https://forms.gle/TeZyid7mpgeYpjQ2A>



二次元コードからPC、スマホ
でもお申込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは
左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

京都市生まれ。西宮市で阪神・淡路大震災に遭遇し、地域の大混乱を目の当たりにした経験から、地域防災の必要性を痛感。2001年から京都市中京区・朱八学区で自主防災会活動に参加する。京都市立高倉小学校では、学校運営協議会（スマイル21プラン委員会）の防災部会を担う。また、京都市内在住の防災士とともに「防災寺子屋・京都」として活動し、地域・行政・企業等からの依頼による防災講座を年間約50回実施。特に、将来の「助ける側」を増やすため、児童・生徒・学生への防災教育に力を注いでいる。講座では「分かりやすい説明で災害を自分ごとに」を心がけ、過去の被災状況を身近な地域に置き換えて考えるなど、災害の規模や地域での共助の必要性を実感できる工夫を重ねている。「地域は災害対応の最前線」「避難所にお客様はいない」を掲げ、地域の防災力向上に取り組んでいる。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

近年、南海トラフ巨大地震への備えに加え、事件や事故など、子どもや学校を取り巻く多様なリスクへの対応が求められるとともに、避難生活や教育の継続、地域コミュニティの再生までを見据えた備えも重要となっています。少子高齢化が進む今、地域の持続性を見据え、平時から学校と地域がつながり共に備えることが、これまで以上に大切になっています。

第10回では、平成14年に全国に先駆けて学校運営協議会が発足した京都市立高倉小学校を取り上げます。日頃から学校と地域をつなぎ、防災をはじめとする多様な活動に取り組んできた実践から、災害時にもそのつながりや力を活かし、学校と地域の持続性を支えるために学校運営協議会が果たし得る役割について、具体的な事例を通して学びます。

■プログラム（予定）

第10回：令和8年10月9日（金）15:00～16:45（質疑応答含む）

14:30 開場（オンラインは14:50開場）

15:00 開始・趣旨説明

15:05 専門家によるご講義

16:05 小休憩

16:10 会場からの質疑応答・次回のリレー講座案内など

16:45 閉会

■場所：鳥羽商工会議所3階 かもめホール＋オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 10月7日（水）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします

右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

<電話の場合>

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎⑤ 1 2 6 5（電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）

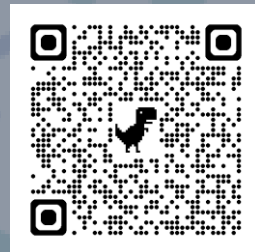
鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎⑤ 1 1 1 8（電話でお申し込み希望の市民の方）

<メールの場合>

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・
スマホでお申込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会

